

主題：神の王国の実際の中に生きる

メッセージ 12

王国と召会

聖書…マタイ 16:18-19. 18:17-18. 13:44-46. ローマ 14:17. 啓 21:2, 9-10, 18-21

I. 聖書は最初に王国を提示し、次に召会を啓示します。王国の存在が召会を生み出します——マタイ 4:23. 16:18-19 :

A. 神の命は神の王国です。神聖な命は王国であり、この命が召会を生み出します——ヨハネ 3:3, 5. マタイ 7:14, 21. 19:17, 29. 25:46 :

1. 王国は命の領域であり、それは命が動き、支配し、統治し、その目的を達成するためです。そしてこの領域が王国です。

2. 福音は神聖な命をもたらします。そしてこの命にはその領域があり、それが王国です。神聖な命はその領域を伴って召会を生み出します——Ⅱテモテ 1:10。

3. 王国の福音は召会を生み出します。なぜなら、王国は命そのものであるからです。召会は命の結果です——マタイ 4:23. 使徒 8:12。

B. 王国は召会の実際です。ですから、王国の命から離れて、わたしたちは召会生活を生きることができません——マタイ 5:3. 16:18-19. 啓 1:4-6, 9 :

1. 天の王国の実際（マタイ第 5 章—第 7 章）が召会生活の内容です。王国の実際がないなら、召会は空虚です。

2. 王国の生活が召会生活をもたらすので、わたしたちは王国の生活において団体的に生活するとき、自然に召会生活を生きます——ローマ 14:17。

3. 王国の実際の中に生きていない信者は、召会の構造の中へと建造し込まれることはできません——エペソ 2:22。

C. 召会の実際としての王国がなければ、召会は建造されることはできません——マタイ 16:18-19 :

1. 召会は、王国の権威を通して存在するに至ります。

2. 王国のかぎが与えられたのは、召会の建造を可能にするためです——19 節. 18:18. 参照、ヨハネ 20:23。

3. 天の王国が団体の信者たちに対してその権威を行使することができるとき、それらの信者たちは召会へと建造されることが出来ます——コロサイ 2:19. エペソ 4:15-16。

II. 真の召会はこの時代における神の王国です。今日、信者たちは召会の中で王国の生活を生きます——マタイ 16:18-19. 18:17-18. 13:44-46. ローマ 14:17. I コリント 4:20. エペソ 2:19. コロサイ 4:11. 啓 1:4-6 :

A. 主イエスは召会について語った時はいつでも、王国に関連してそれを述べました。このことが示しているのは、王国と召会とがいかに親密な関係があるかと

ということです——マタイ 16:18-19. 18:17-18 :

1. ローマ第 14 章 17 節は、この時代における召会が神の王国であることを証明します。
 2. I コリント第 4 章 20 節における「神の王国」は、召会生活を指しています (17 節)。それは権威という意味において、この時代における召会が神の王国であることを暗示しています。
 3. エペソ第 2 章 19 節における「同じ国籍の者」は、神がご自身の権威を行使する神の王国、範囲を示しています。
 4. パウロと彼の働き人仲間が諸召会を設立するために働いていたことは、神の王国のためでした——コロサイ 4:11。
 5. 啓示録第 1 章 6 節における「王国」という言葉が啓示しているのは、召会がある所に、神の王国があるということです。召会は王国を表します。
- B. 王国としての召会において、わたしたちは王国の支配、統治、管理、訓練の下にいます——I コリント 6:9-10. ガラテヤ 5:19-21. エペソ 5:5.
- C. 主の回復において、わたしたちは同時に王国と召会の中に、すなわち、宝と真珠の両方の中にいます——マタイ 13:44-46.
- D. 今日、召会は神の王国ですが、わたしたちは天然の人の中ではなく、霊の中で生き、歩き、存在するときはじめて、実際において王国の中にいるのです——ローマ 8:4. ガラテヤ 5:16, 25.
- E. 神聖な三一の分与の下にいる者たちとして、わたしたちは召会の中で王国の生活を生き、ついには円熟に到達する必要があります——II コリント 13:14. II ペテロ 1:5-11.

Ⅲ. 召会は王国をもたらします。召会の働きは神の王国をもたらすことです——マタイ 6:10. 12:22-29. 啓 11:15. 12:10 :

- A. 召会が存在するに至ったのは、王国をもたらすためでした——マタイ 16:18-19. 18:17-18. 啓 1:6, 9. 11:15 :
1. 召会の責任は、キリストの勝利を永続させ、神の王国をもたらすことです——12:10-11. 11:15.
 2. 地上での召会の働きは、神の王国をもたらすことです。召会のすべての働きは神の王国の原則によって支配されています。
 3. 召会は天のみこころを地にもたらし、地上でそれを遂行することに責任があります——マタイ 6:10. 7:21. 12:50.
- B. 召会は天の支配によって存在するに至り、召会が天の支配に服従するゆえに、神の敵を対処します——16:18-19. エペソ 6:10-18 :
1. 天の王国が設立されるために、霊的戦いの必要があります——マタイ 12:22-29.
 2. 召会の責任は、キリストが地上で戦った戦いを継続することです。召会は、キリストがサタンに対して遂行した勝利の働きを継続しなければなりません——ヘブル 2:14. I ヨハネ 3:8 後半. コロサイ 2:15. 詩 149:5-9.
- C. 召会は、祈って神の王国をもたらすべきです——マタイ 6:10 :

1. 王国が来るのは自動的ではありません。もし祈りがなければ、王国は来ることができません。
2. 召会の祈りは、サタンを抑制する最も効果的な手段です—— 16:19. 18:18。
3. 召会は天の出口であって、天の権威が地上で表現されるようにしなければなりません—— 16:18-19. 18:17-18。
4. 真の祈りは神との合作であり、神の王国を地上にもたらし、地上で神のみこころを遂行します。このゆえに、祈りは霊的戦いであるのです—— 6:10. II コリント 10:4. エペソ 6:12。

IV. 究極的に、新エルサレムは王国と召会、宝と真珠であって一つの実体となります——啓21:2. マタイ13:44-46 :

- A. 王国は召会を生み出し、召会は王国をもたらし、究極の結果は新エルサレムです——啓 21:2, 9-10。
- B. 新エルサレムは、宝と真珠の組み合わせです—— 18-21 節。
- C. 新エルサレムは、それ自身において王国と召会の両方を結び付けます：
 1. 新エルサレムは、花嫁です。それはエペソ第 5 章によれば召会です——啓 21:2, 9-10。
 2. 新エルサレムは、都です。それは神の統治について語り、この統治の中心には神の御座があります—— 2, 10 節. 22:1, 3 後半-5。

V. 神のみこころと神の敵に触れる神の王国を常に自分の前に置く者たちは、神の御手の中で最も有用な働き人です——マタイ6:33. 7:21. コロサイ4:11. マタイ25:21, 23。